

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年5月15日
【四半期会計期間】	第31期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	株式会社TRUCK - ONE
【英訳名】	TRUCK-ONE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小川 雄也
【本店の所在の場所】	山口県下松市生野屋南三丁目3番40号
【電話番号】	0833 - 44 - 1100（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 眞崎 高利
【最寄りの連絡場所】	山口県下松市生野屋南三丁目3番40号
【電話番号】	0833 - 44 - 1100（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 眞崎 高利
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号（福岡証券ビル））

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第1四半期 連結累計期間	第31期 第1四半期 連結累計期間	第30期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	1,072,680	1,117,751	4,598,400
経常利益 (千円)	40,551	13,831	51,178
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	27,949	10,133	43,513
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	27,783	6,688	44,168
純資産額 (千円)	675,419	686,498	685,807
総資産額 (千円)	3,488,761	3,281,315	3,302,014
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	11.65	4.22	18.14
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	19.4	20.9	20.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善がみられたものの、新型コロナウイルス感染拡大により景況感が悪化し、先行きが不透明な状況が続いております。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、事業用車両の販売台数が増加したものの、前年同期と比べ、新車の納期平準化による利幅縮小の影響と賃貸用資産の車両の入替に伴う減価償却費が増加したことにより、増収減益となりました。運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、第1四半期において売上高はほぼ横這いであるものの、利益は前年を下回ることとなりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績としては、売上高1,117,751千円（前年同期比4.2%増）、営業利益13,378千円（前年同期比58.4%減）、経常利益13,831千円（前年同期比65.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,133千円（前年同期比63.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

商用車関連事業

賃貸用資産の車両の入替に伴う減価償却費が増加したことにより、商用車関連事業の売上高は918,433千円（前年同期比5.3%増）、セグメント損失は5,614千円（前年同四半期はセグメント利益5,284千円）となりました。

運送関連事業

燃料輸送事業につきましては、暖冬及び人手不足の影響により取扱高が前年を下回ったものの、一般貨物輸送事業におきまして受注が好調であり、運送関連事業の売上高は199,317千円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は18,288千円（前年同期比26.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,281,315千円となり、前連結会計年度末に比べ20,699千円の減少となりました。このうち流動資産は52,282千円減少して2,193,653千円となりました。主な要因は現金及び預金が13,291千円、受取手形及び売掛金が5,122千円、商品及び製品が16,916千円、原材料及び貯蔵品が9,756千円減少したことによるものです。また固定資産は31,583千円増加して1,087,661千円となりました。主な要因は賃貸用資産が23,252千円増加したことによるものです。

（負債の状況）

負債合計は2,594,816千円となり、前連結会計年度末に比べ21,390千円の減少となりました。このうち流動負債は25,610千円減少して2,476,280千円となりました。主な要因は短期借入金が50,000千円増加し、支払手形及び買掛金が17,400千円、未払金が22,787千円、未払法人税等が37,692千円減少したことによるものです。また固定負債は4,219千円増加して118,535千円となりました。主な要因はリース債務が3,854千円増加したことによるものです。

（純資産の状況）

純資産合計は686,498千円となり、前連結会計年度末に比べ691千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が増加し、その他有価証券評価差額金が3,444千円減少したことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、経営方針・経営戦略等に重要な変更及び新たに定めた経営方針・経営戦略等はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の取得の計画につきましては、「第4 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表 注記事項（追加情報）」に記載のとおりであります。

3 【経営上の重要な契約等】

当社は、2020年3月31日付で有限会社フレンドとの間で固定資産の取得契約を締結いたしました。詳細は、「第4 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表 注記事項（追加情報）」に記載のとおりであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,208,000
計	10,208,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,552,000	2,552,000	福岡証券取引所 (Q-Board市場)	単元株式数 100株
計	2,552,000	2,552,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月31日	-	2,552,000	-	97,725	-	42,125

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】
【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 153,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,398,900	23,989	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	2,552,000	-	-
総株主の議決権	-	23,989	-

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 株)TRUCK-ONE	山口県下松市生野屋南3-3-40	153,100	-	153,100	6.00
計	-	153,100	-	153,100	6.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、ACアーネスト監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	364,569	351,277
受取手形及び売掛金	178,596	173,474
商品及び製品	1,663,267	1,646,350
原材料及び貯蔵品	13,133	3,377
その他	27,115	19,913
貸倒引当金	745	739
流動資産合計	2,245,936	2,193,653
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	217,259	240,512
土地	411,588	411,588
その他(純額)	314,147	323,178
有形固定資産合計	942,995	975,279
無形固定資産合計	8,725	7,828
投資その他の資産		
投資有価証券	28,845	23,617
繰延税金資産	21,908	26,257
敷金及び保証金	22,363	22,363
その他	31,239	32,314
投資その他の資産合計	104,356	104,553
固定資産合計	1,056,077	1,087,661
資産合計	3,302,014	3,281,315
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	548,886	531,486
短期借入金	1,600,000	1,650,000
リース債務	45,249	49,299
未払金	223,952	201,164
未払法人税等	44,021	6,329
賞与引当金	1,114	11,057
その他	38,666	26,942
流動負債合計	2,501,890	2,476,280
固定負債		
リース債務	82,503	86,357
退職給付に係る負債	31,812	32,178
固定負債合計	114,316	118,535
負債合計	2,616,206	2,594,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	559,220	563,357
自己株式	14,481	14,481
株主資本合計	687,420	691,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,612	5,057
その他の包括利益累計額合計	1,612	5,057
純資産合計	685,807	686,498
負債純資産合計	3,302,014	3,281,315

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,072,680	1,117,751
売上原価	921,004	976,970
売上総利益	151,676	140,780
販売費及び一般管理費	119,544	127,401
営業利益	32,131	13,378
営業外収益		
受取利息	11	72
持分法による投資利益	4,468	-
受取保険金	2,563	428
保険解約返戻金	198	254
その他	2,772	1,270
営業外収益合計	10,015	2,026
営業外費用		
支払利息	1,595	1,315
その他	-	258
営業外費用合計	1,595	1,573
経常利益	40,551	13,831
税金等調整前四半期純利益	40,551	13,831
法人税、住民税及び事業税	15,685	6,264
法人税等調整額	3,082	2,566
法人税等合計	12,602	3,697
四半期純利益	27,949	10,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,949	10,133

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	27,949	10,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	3,444
その他の包括利益合計	165	3,444
四半期包括利益	27,783	6,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,783	6,688
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産(土地)を取得することについて決議し、2020年3月31日付で取得契約を締結いたしました。

(1)取得の理由

当社では更なる業績向上に向け、多種多様なお客さまのニーズにお応えすべく商品ラインナップの拡充強化を掲げております。斯様な中、展示場の拡張をはじめ、今後、最新型車両にも対応できる車検整備ラインの充実も視野に入れ、当該土地を取得する運びとなりました。

(2)取得資産の内容

固定資産の種類	土地
所在地	山口県下松市生野屋南3丁目1番外
土地面積	9,333.74㎡
取得価額	280,000千円
物件引渡時期	契約締結後6か月以内

(3)当該事象の連結損益に与える影響額

当該土地取得に伴う、当社グループの2020年12月連結業績に与える影響については精査中であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	35,501千円	44,255千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月20日 定時株主総会	普通株式	5,997	2.50	2018年12月31日	2019年3月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月19日 定時株主総会	普通株式	5,997	2.50	2019年12月31日	2020年3月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	871,888	200,791	1,072,680	-	1,072,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,373	10,496	26,869	26,869	-
計	888,261	211,288	1,099,550	26,869	1,072,680
セグメント利益	5,284	25,026	30,311	1,820	32,131

(注)1 セグメント利益の調整額1,820千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	918,433	199,317	1,117,751	-	1,117,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,552	12,508	51,060	51,060	-
計	956,986	211,825	1,168,811	51,060	1,117,751
セグメント利益又は損失()	5,614	18,288	12,674	704	13,378

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額704千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	11円65銭	4円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	27,949	10,133
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	27,949	10,133
普通株式の期中平均株式数(株)	2,398,900	2,398,900

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

株式取得による子会社化

当社は、2020年4月17日開催の取締役会において、SUN AUTO株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、2020年5月12日付で株式取得の契約を締結しております。

1. 株式取得の目的

SUN AUTO株式会社は東南アジアに独自の販売ルートを構築し、主に国外向け中古商用車販売事業を営んでおります。

当社におきまして、以前はロシアやニュージーランド向けに輸出を行っていましたが、リーマンショックや海外の輸入規制の煽りを受け、近年は国内販売に特化し、事業を展開してまいりました。国内販売においても今のところ大きな変化はないものの、国内労働人口の減少や輸送の効率化に伴う商用車の減少も予想され、海外市場への提供を目指し様々な機会を模索してまいりました。

この度の株式取得により、弊社の強みである輸出用車両の仕入れとSUN AUTO株式会社のもつ東南アジアの販売網を獲得することで、シナジー効果を発揮することが期待できます。また、各国の規制や商習慣に対応するノウハウ等を得ることが可能となり、海外市場への提供を拡大することを目的としています。

2. 株式取得の相手の名称

小野 純一

3. 株式取得の相手の概要

名称 : SUN AUTO株式会社
事業の内容 : 自動車輸出入事業
資本金 : 20,000千円

4. 株式取得の時期等

取締役会決議日 : 2020年4月17日
契約締結日 : 2020年5月12日
株式取得実行日 : 2020年7月3日(予定)

5. 取得する株式数及び取得後の持分比率

取得する株式数 400株
取得後の持分比率 100%

取得価額につきましては、当事者間の合意により非公表としておりますが、適正価額を算出しております。

6. 支払い資金の調達方法及び支払方法

自己資金及び借入による調達予定

7. 今後の見通し

本株式取得に伴う、当社グループの2020年12月連結業績に与える影響については精査中であります。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

株式会社TRUCK - ONE
取締役会 御中

ACアーネスト監査法人

代表社員 公認会計士 和田 治郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 大森 浩二 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社TRUCK - ONEの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社TRUCK - ONE及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

1. 追加情報の注記に記載されているとおり、会社は2020年3月31日に固定資産の取得契約を締結した。
2. 重要な後発事象の注記に記載されているとおり、会社は2020年4月17日開催の取締役会においてSUN AUTO株式会社の株を取得し子会社化することを決議し、2020年5月12日付で株式取得の契約を締結している。
当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。